

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : ナショナル No. 663
会社名 : ナショナル 貿易 株式会社
事業所 : 本社
住所 : 兵庫県明石市魚住町清水2378-3
電話番号 : 078-941-9341
FAX 番号 : 078-941-8105
緊急時連絡先 : 078-941-9341

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外
金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 分類できない
急性毒性(経皮) : 分類できない
急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 分類できない
水生環境有害性(長期間) : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 重
篤な眼の損傷

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱後はよく洗うこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急処置

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合：
直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管 廃

棄

施錠して保管すること。

内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
成分及び含有量	: ① アニオン界面活性剤 ② ノニオン界面活性剤 ③ 無機塩 ④ 染料 ⑤ 水
官報公示整理番号（化審法）	: 非公開
官報公示整理番号（安衛法）	: 既存
CAS番号	: 非公開
危険有害性成分	: 無機塩

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
必要に応じて医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／
取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
ただちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて
容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ただちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の
際には、煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、
可能な限り風上から行う。周囲の設備などに散水して冷却する。
関係者以外は安全な場所に退避させる。
消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に
流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行なう者の保護 : 消火作業の際には、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
保護具及び緊急時措置 : 多量の場合は、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、
及び機材 : 残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから
ドラム等に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため
注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 安全取扱い注意事項 : 眼および皮膚への接触を避ける。作業場の換
気を十分行う。酸との接触を避ける。保護眼鏡、
保護手袋等の適切な保護具を着用。
- 衛生対策 : 取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 保管
- 適切な保管条件 : 換気のよい場所で保管すること。密閉容器に保管すること。
酸性物質と一緒に保管しない。凍結を避ける。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

：蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

許容濃度

管理濃度

日本産業衛生学会（2013 年度版）

ACGIH（2005 年度版）

：設定されていない。

：設定されていない。

：設定されていない。

保護具

呼吸用の保護具

：必要により、酸・アルカリ用防毒マスク

手の保護具

：不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋

眼の保護具

：ゴーグル型または全面保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具

：長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状

：透明液体

色

：青色

臭い

：わずかに特異な臭いを有する。

pH

：11.6(2%)

沸点

：データなし

融点（流動点）

：データなし

分解温度

：データなし

引火点

：測定不能(COC、水含有品のため)

発火点

：データなし

爆発特性

爆発限界

：データなし

蒸気圧

：データなし

蒸気密度

：データなし

密度

：1.102 g/cm³(15°C)

溶解性

水溶解性

：水に易溶

溶媒溶解性

：データなし

n-オクタンール/水分配係数

：データなし

その他のデータ

：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

：強酸化剤、酸性物質とは、反応の可能性あり。

化学的安定性

：通常の取扱いでは安定。

危険有害反応可能性

：酸性物質との接触での発熱反応。

避けるべき条件

：混触危険物質との接触。酸性物質との接触。

混触危険物質

：強酸化剤、酸性物質。

危険有害な分解生成物

：情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口投与

（製品のデータ）

：情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

経皮投与

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

蒸気吸入

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

粉塵／ミスト吸入

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

皮膚腐食性／刺激性

(製品のデータ)

製品pHが11.5以上である。

(成分のデータ) : 情報なし

眼に対する重篤な損傷性／刺激性

(製品のデータ)

製品pHが11.5以上である。

(成分のデータ) : 情報なし

呼吸器感作性

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

皮膚感作性

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

生殖細胞変異原性 (変異原性)

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

発がん性

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

生殖毒性

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

特定標的臓器毒性－単回ばく露

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

特定標的臓器毒性－反復ばく露

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

吸引性呼吸器有害性

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

(製品のデータ) : 情報なし

(成分のデータ) : 情報なし

残留性／分解性
(製品のデータ)COD_{mn}(1%) 306mg/L

・・・1)

(成分のデータ)

: 情報なし

生体蓄積性

(製品のデータ)

: 情報なし

(成分のデータ)

: 情報なし

土壤中の移動性

(製品のデータ)

: 情報なし

(成分のデータ)

: 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。

廃棄する場合、内容物を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器及び包装

: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に廃棄物処理法(廃棄物及び清掃に関する法律)、及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国内法規制

: 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

国際法規制

: 航空輸送は I A T A 及び海上輸送は I M D G の規則に従う。

国連番号 (UN Number)

: UN3266

国連輸送名

: CORROSIVE LIQUID, BASIC, INORGANIC, N. O. S.

(Proper Shipping Name)

(INORGANIC SALT)

国連分類 (UN Class)

: Class 8 (Sub risk: Not applicable)

容器等級 (Packing Group)

: III

海洋汚染物質 (Marine Pollutant)

: Not applicable

MARPOL73/78 附属書 II

: Not applicable

及び IBC コード

H S コード (参考情報)

: 3402. 90-000 (「16. その他 *HSコードについて」参照)

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
船舶安全法に基づく危規則腐食性物質に該当するので、海上輸送の場合は同法の規定に従って容器、及び標識その他必要な措置を講じて輸送する。
タンクローリー等の荷役時には車止め、ホースの連結、必要に応じてアースを確実にを行う。ホースの脱着時は、ホース内の残留分の処理を完全に行う。

1 5. 適用法令

国内適用法

化審法

: 該当しない

消防法

: 該当しない

安衛法

: 該当しない

毒劇物法

: 該当しない

船舶安全法	: 危規則第2、3条危険物告示別表第1 腐食性物質
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1 腐食性物質
火薬取締法	: 該当しない
高圧ガス保安法	: 該当しない
化学物質管理促進法 (PRTR)	: 該当しない
海洋汚染防止法	: ばら積み運送 未査定物質 個品運送 該当しない

海外物質登録情報

T S C A (米国)	: 未登録
E I N E C S (EU)	: 未登録
E C L (韓国)	: 未登録
A I C S (オーストラリア)	: 未登録
D S L (カナダ)	: 未登録
N Z I O C (ニュージーランド)	: 登録あり
P I C C S (フィリピン)	: 未登録
I E C S C (中国)	: 登録あり

16. その他の情報

引用文献

1) 自社保有資料

ここに記載された危険性・有害性の情報は当社の最新の調査・評価に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取扱いには細心の注意を払って下さい。本品の適正な使用については使用者の責任において行って下さい。

* HSコードについて：参考情報としてHSコードを記載していますが、解釈・用途等により他コードを適用可能な場合があります。輸出の際には、輸出者の責任において選択した上で税関の指示に従い適切に対応して下さい。

発行変更履歴

作成日	2013年11月20日
改訂1	2016年06月08日
改訂2	2017年03月01日